



2026年3月31日

各位

会社名	杏林製薬株式会社
代表者名	代表取締役社長 CEO 荻原 豊
コード番号	コード番号 4569 東証プライム
問合せ先	経営企画部 部長 菊池 章太
電話	03-6374-9702

BIODOL 社との神経障害性疼痛治療薬の候補化合物 BDT272 に関する ライセンス契約締結について

当社は、本日、BIODOL Therapeutics (本社: 仏 Montarnaud、CEO: Fabien Granier、以下、BIODOL 社)と 2025 年 1 月に締結した疼痛治療薬候補化合物 BDT272 に関するオプション契約に基づき、オプション権を行使し新たにライセンス契約を締結しました。

本契約により、当社は日本、韓国、台湾における本剤の開発・製造・販売に関する独占的権利を取得します。その対価として、当社は BIODOL 社に対して、契約一時金、並びに開発から製造販売承認の取得及び一定の正味売上高の達成に伴うマイルストーンペイメントの合計として、最大 79 百万ユーロを支払うほか、正味売上高に応じたロイヤリティを支払います。

BDT272 は、神経障害性疼痛などの疼痛の発症と持続に深く関与する FLT3 (受容体型チロシンキナーゼファミリー)を阻害することで、効果的な鎮痛作用を発揮すると考えられます。

当社は、医療ニーズに応える価値の高い新薬の提供を目指し、創薬研究領域の一つとして疼痛領域に注力しています。本剤を開発し販売することにより、新たな治療選択肢を疼痛で苦しむ患者さんに提供できることを期待しています。

2026 年 3 月期の連結業績予想への影響につきましては、本契約により BIODOL 社に支払う契約一時金を当期の販売費及び一般管理費 (研究開発費) に計上する予定であり、適時開示すべき事項が発生した場合には、速やかに公表いたします。

以上

【参考資料】

BIODOL 社について

BIODOL 社は 2015 年に設立され、ファースト・イン・クラスの疼痛治療薬の開発を目指しており、受容体型チロシンキナーゼ (RTK) である FLT3 が神経障害性疼痛の発症と持続に深く関与することを見出した (Nature Communications, 2018)。また FLT3 シグナル伝達の阻害により、オピオイドの鎮痛効果を維持しながらオピオイド耐性と痛覚過敏を抑制することを示しました (Nature Communications, 2024)。BIODOL 社は、種々の疼痛を治療するために、FLT3 受容体アロステリック阻害剤の開発に注力しています。同社は4件の特許で構成される特許ポートフォリオを保有し、フランス投資銀行 (BPI France)、SATT AxLR、Inserm Transfert、オクシタニー地方、フランス国立研究機関、SEMIA インキュベーター、モンペリエ・ビジネス・アンド・イノベーション・センターからの支援を受けています。本件において、BIODOL 社は MCE Carrel 法律事務所の助言を受けています。